

世界連邦宣言

いま、一つの世界を

自治体協新聞

発行

世界連邦宣言自治体
全国協議会
(事務局=京都府綾部市)
〒623-8501綾部市若竹町8-1
TEL (0773) 42-4217
FAX (0773) 42-4905

世界連邦推進交付金事業

中東和平プロジェクトを

京都府亀岡市で開催

4月8～17日の日程で、

「中東和平プロジェクトin亀岡」(主催=中東和平プロジェクトin亀岡実行委員会、後援=外務省・京都府)が開催される。

同プロジェクトは、「中東和平は世界の平和に通じる」との理念から2003年に京都府綾部市で始まり、現地の紛争で親族等を亡くした若者を招き交流を行ってきた。今回の開催は2019年以来、13回目。

今回は、イスラエル・パレスチナ紛争遺族会の関係者を日本へ招へいし、亀岡市で発表会を開催。その後、長崎原爆資料館や関係機関への訪問

世界連邦推進交付金
交付申請

当協議会では、加盟自治体等が実施する世界連邦推進事業に対する交付金制度を運用している。

対象事業は、恒久平和実現のための世界連邦主義を普及し、自治体が連携して世界平和に寄与するという当協議会の目的に沿った事業。

交付金額は、対象経費の10分の10以内で限度額は50万円。なお、国外との交流を主とする事業についてはこの限りではない。申請期限は、12月末まで。

計報

世界連邦日本国委員会

横路孝弘元会長のご逝去

世界連邦日本国委員会
第12期務められたほか、北
海道知事も務められました。
日、ご逝去されました。82歳。
横路氏は衆議院議員を通
も務められました。

世界連邦日本国委員会では会長を務められ、恒久平和の実現に向けて、世界連邦運動にご尽力くださいました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

世界連邦推進啓発物品を
作製

当協議会では、世界連邦運動に関する啓発物品を作製しました。

世界連邦の理念・構想や世界連邦運動の歩みのほか、近年の動向なども掲載。パネル展等で活用いただけるような内容としています。当協議会のホームページにデータを掲載していますので、各自治体等におかれましては、ぜひご活用ください。



ご協力ありがとうございました

自治体1人100円募金

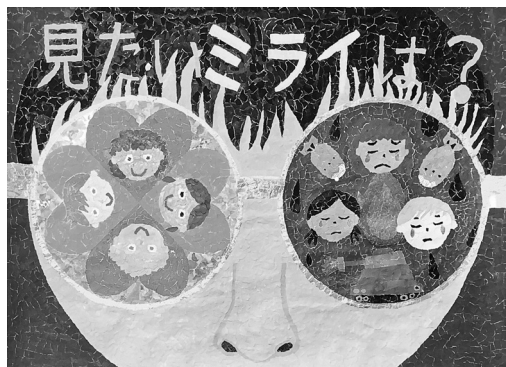


当協議会が昭和61年から毎年実施している「世界平和と難民救済のための自治体1人100円募金」について、全国の自治体から3月20日の時点で、150自治体から計464万円に上る善意をお寄せいただきました。

ご協力いただきました自治体の皆様、また事務をお執りくださった担当の方に厚く感謝申し上げます。本年度、お預かりした募金は、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)やUNICEF(国連児童基金)等へ寄託し、難民や病气・貧困に苦しむ子どもたちの救済などに役立てられるほか、世界連邦・平和推進事業などの取組にも活用しています。引き続き、本事業へのご理解ご協力をお願いします。

次代を担う子どもたち

～世界連邦推進ポスター・作文コンクール～



ポスターの部

文部科学大臣賞受賞作品

「見たいミライは？」

海津市立城山小学校 3年

加藤 愛望

世界連邦運動協会（会長代行Ⅱ中野寛成）主催、当協議会と文部科学省後援の「第51回世界連邦推進全国小・中学生ポスター・作文コンクール」の表彰式が2月25日（土）にJICA地球ひろば（東京都新宿区）にて開催された。表彰式の開催は3年ぶり。

次代を担う小・中学生を対象として、平和の尊さや世界連邦についての理解を深めるとともに、平和の実現を目指すようになることを目的として、昭和47年から実施。

全国からポスターの部に101校1237点、作文の部に38校460点の応募があり、ポスターの部で18点、作文の部で17点が入選した。

表彰式には全国から多数の入選者が集まり、中野寛成会長代行が賞状や副賞などを授与した。

入選作品は、同広場のギャラリースペースに展示された。



賞状を授与する中野会長代行

作文の部

文部科学大臣賞受賞作品

「平和について考えるきっかけを」

綾部市立上林中学校 3年 井上 歩乃花

「八月六日」「八月九日」この数字を見て頭にパツとある恐ろしい出来事を思い浮かべる人が多いだろう。私は毎年、この二日を特に何もなかったように過ごしてしまっている。しかし、今年の八月九日、テレビで長崎の原爆犠牲者慰霊平和祈念式典のニュースが流れた時、幸せな日常を一瞬で奪う核爆弾への恐怖を覚えた一つの出来事を思い出した。

「ふりそでの少女像」を知っているだろうか。七十七年前、長崎で被爆した二人の少女の像だ。私は二年前、学校の授業で、この二人の少女の実話が描かれている「ふりそでの少女」という絵本を初めて読んだ。同じく被爆した作者が、火葬される二人の少女の姿が忘れられず、その光景を一枚の絵にし、二人の少女について知っていくという戦争の恐ろしい情景が細かく描かれた絵本である。この絵本の一番最後に、「あなたたちの死を無駄にしないよう、私たちは平和を訴え続けます。」と書かれている。この絵本を読み終わった時、今まで戦争は昔のことと他人事のように考えた自分が嫌になった。それと同時に、体がふるえるぐらい戦争への憎しみを感じたことを二年経った今でも覚えている。

私が住む綾部市は、ふりそでの少女の一人のお母さんが住んでいた。そのお母さんは、綾部の中学生に像を造りたいと相談した。私と同じ中学生、しかも同じ地元の中学生が協力し、ふりそでの少女像を造るための街頭募金を行っていた。その事実を知り、戦争を経験していても平和を願い、「戦争」という恐ろしい過去を残すべく行動した中学生に私は尊敬せざるを得ない気持ちになった。

私は、二年越しに「ふりそでの少女」の絵本を読んだ。二年前と同様、戦争は憎むべきものであり、二度と起こってはいけないと思ったの

と同時に私が「ふりそでの少女」を通して、戦争の恐怖を知り、平和を願う気持ちが芽生えたように、自分ももっと戦争の本質をさぐり学び、誰かの、戦争について考えるきっかけを作りたいと思った。

戦争を経験した人が減ってきている今、「戦争Ⅱ昔のこと」と捉えている人が多いのではない。しかし、現在ロシアのウクライナ侵攻という平和とは真逆な恐ろしい出来事が起きている。戦争の時代を生きていない私達からすると、とても衝撃的な光景をニュースで目の当たりにしている。私は、決して戦争は現代と程遠くはないと思う。起こるべきでない戦争がいつ起きてもおかしくない私は実感している。戦争を起さないためには、戦争を知らないからこそ、関心を持ち、知ろうとすることが必要だ。また、被爆され、亡くなられた方の命が無駄にならないよう、今を生きる私達は次世代へ語り継ぐ義務があると思う。全ての人が手を取り合い、心から平和を願う世の中になってほしい。そこで私は、一つの疑問が頭に浮かんだ。「そもそも平和とは？。戦争がない世界は平和なのか。核兵器が存在しない世界は平和なのか。」私はそうではないと思った。周りで心ない言葉をかけてる人を見かけたことはないだろうか。差別やいじめをしている人がいないだろうか。戦争よりも身近なことに感じると思うが、これらのことで命を自ら絶つ人も残念ながらいなく、人を傷付け追い詰め命を奪うのなら、それは現代の戦争の形になってしまっているのだと、私は考える。

せつなくこの世界で生きているのなら、悲しみや苦しみ、おろかを感じて生きるより、人々の温もりがそばにある方がいい。戦争を起こすのは人。平和をつくるのも人。だから私は、戦争で命を落とした人の分も伝えたい。誰かの、戦争について考えるきっかけを作りたい。何年経っても、「八月六日」「八月九日」この数字を見ると頭にパツとあの恐ろしい出来事を思い浮かべる人が続くために。